**学習指導案**

○○月○○日　００：００～００：００　４５分

　　　　　　　場所［　　　　　　　　学校］　授業者名［　　　　　　］

１．授業テーマ

|  |
| --- |
| 災害時のコミュニケーションを学ぼう |

２．学習者

|  |
| --- |
| 中学校1年生～高校３年生　程度 |

３．教材

|  |
| --- |
| 「災害時のコミュニケーションを学ぼう」プリント×人数または班数分 |

４．指導

|  |
| --- |
| 災害時にはどうすればいいか分からない場面、他者と意見が違う場面もある（避難所でお弁当が足りないときなど）。そうしたときは意見の異なる人とも冷静に話し合い、結果を想像しながらよりよい答えを探し、行動しなければならないことを指導する（お弁当を配るか配らないかを決めなければならない）。 |

５．学習目標

|  |
| --- |
| ・災害発生時の正解が分からない課題に対して、既存の知識経験を元に答えを導き出すことができる。・自分の答えについて論理的な説明を行い、異なる意見の相手と適切な議論ができる。 |

６．指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時配 | 学習内容と活動 | 指導上の留意点・評価 |
| 00:00-00:10 | 導入・関心・日常での些細な意見の違いや避難所でのトラブルなどを例（お弁当が足りなくても配るかどうかなど）にして学習成果を意識させる | ▲意見の違いは日常的に起こること、災害時には結論を出さなければいけないことを正しく理解させる。〇マンガの好きなキャラクターやお菓子などを例にしてもよい。 |
| 00:10 -00:40 | 展開・思考（防災ゲーム）・ゲーム形式で、気負うことなく災害時の状況　について自分なりの意見を考えさせる・異なる意見に対してもしっかり聞かせる | ▲ルールについて正しく理解させる○ゲームの問いには正解はないこと、　正解を探すよりも自分で考え、意見を　述べることを重視するよう指導する。 |
| 00:40-00:45議論・まとめ | 実践・全体まとめ・リフレクションシートにより、学習内容を振り返る | ○指導まとめ「災害時には正解の分からない問題が出てくる。自分で考えたり、人の意見を聞いたりしながら、結果を想像して、結論を導かなくてはいけない」ことを指導 |